



産業用エアーカーテン取扱説明書

【 NA-15 シリーズ 】



- ご使用前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みください。
- この説明書は、保証書とともに大切に保管し、必要なときお読みください。
- 保証書はかならず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめてください。

■ 目次

1. 目次
2. 安全のための注意事項
3. 各部名称・外形寸法・電気仕様
4. 製品設置時の注意事項
5. 製品の取付方法
6. 試運転
7. 設置後の確認事項
8. お手入れの仕方
9. 製品保証書



■安全のための注意事項







ここに示す注意事項は、安全に関する重大な内容を掲載しています。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

工事される方へのお願い

- 設置工事の前に、この設置マニュアルをよくお読みのうえ正しく設置してください。
- 試運転を必ず行い、お客様へ正しい使い方をご説明ください。
- この説明書は必ずお客様にお渡しいただき、取扱説明書・保証書とともに保管いただくように依頼して下さい。
- 本体設置時に分解をしないで下さい。
電源電線及びアース線は、プラグを外して直結しないで下さい。
漏電やショートによる感電・火災の原因になります。
- プラグの刃及び刃の周辺にほこりが付着していないことを確認し、ガタのないよう根元まで確実に差し込んで下さい。
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電・火災の原因になります。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される」内容を示しています。

 警告	 定格電圧・定格周波数で使用して下さい。 定格電圧・定格周波数以外で使用すると火災・感電の原因になります。
	 お手入れの際は、必ず分電盤のブレーカーを切ってから行って下さい。 感電やけがの原因
	 停電のときは必ず電源を切して下さい。 停電復帰後、急に機械が急に稼働し事故を起こす原因になります。
	 アースを確実に取り付け、専用の漏電遮断機器を設置してください 故障や漏電の時に感電する恐れがあります。
	 絶対に分解・修理・改造を行わないで下さい。 火災、けが、感電の原因になります。



運転中は、吹出口の中や可動部に指や物をいれたり、高温部に触れたりしないで下さい。

けがややけどの原因になります。



製品を水につけたり、水をかけたりしないで下さい。

感電や漏電による火災のおそれがあります。



ぬれた手で操作しないで下さい。

感電の原因になります。



湿気やほこりの多いところ、雨水のかかる場所には設置しないでください。

製品故障の原因になります。



本体にぶら下がらないでください。

落下して、けがの原因になります。



本体の取付工事は、十分強度のあるところを選んで確実に行ってください。

落下により、けがをする恐れがあります。



製品から変な音が出たり、振動・臭い・煙が出た場合は、直ちに運転を停止し、専門店にお問い合わせください。

予期せぬ事故の原因になります。



取付、お手入れの際には手袋を着用してください。

けがややけどの原因になります。



吹出口に目を向けしないでください。(特に起動時)

ゴミなどが飛んできて目に入ることがあります。



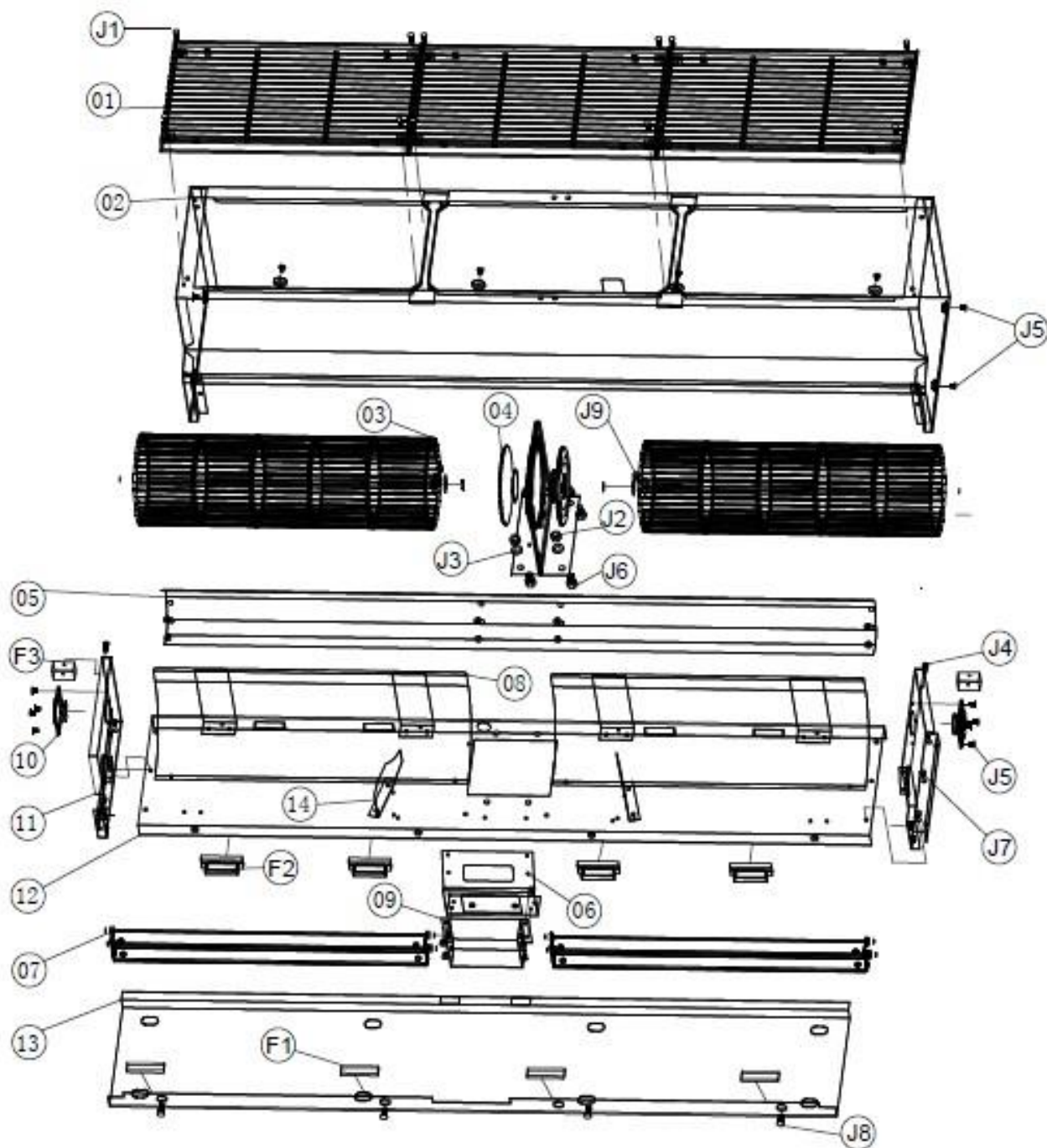
点検時などに、本体からはずした部品を落とさないよう注意してください。

落下して、けがの原因になることがあります。



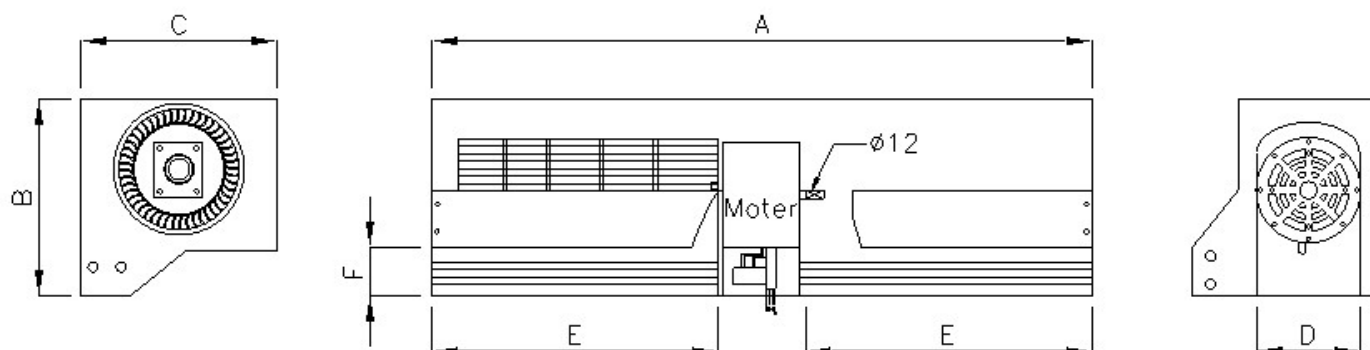
注意

■各部名称



番号	名称	番号	名称
01	グリル (吸込み口)	09	スイッチボックス
02	ケーシング	10	ベアリング
03	アルミファン	11	ベアリングシート
04	モーター	12	台座
05	ダンパーボックス	13	壁取付板
06	スイッチボックスカバー	14	風向ガイド
07	風向ダンパー	J	ネジ・ワッシャー・ナット
08	風向ガイドボード	F	ゴムバッファ

■外形寸法



型名	A	B	C	D	E	F
NA-1509	900	265	265	150	410	73
NA-1510	1000	265	265	150	460	73
NA-1512	1200	265	265	150	560	73

■電気仕様

	NA-1509	NA-1510	NA-1512	NA-1509	NA-1510	NA-1512
周波数 (Hz)	50			60		
最大風速 (m/sec)	18.0	18.0	17.0	18.6	17.6	17.6
最大風量 (m ³ /h)	3,442	3,795	4,485	3,605	3,862	4,605
電流値 (A)	1.78	2.20	2.60	2.98	3.02	3.78
起動電流値 (A)	3.87	4.10	4.50	4.20	4.49	5.25
騒音値 (dB)	70.5	71	72	71.5	72	73
重量 (kg)	24	26	29	24	26	29

■製品設置時の注意事項

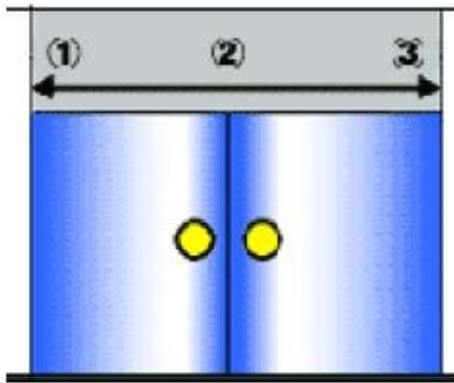
1. 設置開口部の間口と同一か少し長めのエアーカーテンを設置してください。
2. 標準取付け（本体水平）の場合は吹出口が下になるよう取付けてください。
3. エアーカーテンの吸込口は「取付けのすき間」に従い取り付けてください。
エアーカーテン流が生成できない、本体が壁や天井にあたり取付けできない場合があります。
4. 連続して取付ける場合、壁取付け板の間隔は「取付けのすき間」に従いすき間を空けてください。
5. 振動のない堅固な場所に設置してください。
（空振・騒音 又は部品が壊れる恐れがあります。）
6. 室内に取り付けてください。
（屋外に取り付ける場合は、本体に水がかからないように屋根などを設置してください）
7. 気温が -10°C 以下の場所、又は 50 度以上の場所には設置しないでください。
8. 出入り口がエアーカーテンより広い場合は、 2 台以上の製品を並列に取りつけてください。
9. 床面から 3m 以上の高さの場所に設置してください。
10. エアーカーテンを使用する場合、出入口をエア一遮断しますので、室内は必ず換気（第一種換気）を行ってください。
11. 天井埋め込みの場合は、点検のために $45\text{cm}\times 45\text{cm}$ の点検口を必ず設置してください。

★次のような場所での設置・使用はおやめください。

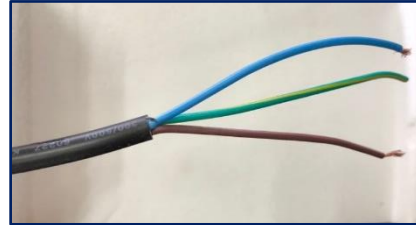
- ・ 気温が -10°C 以下の場所、又は 50 度以上の場所
- ・ 結氷現象が発生する場所
- ・ 湿気の多い（湿度 80% 以上）場所又は蒸気が発生する場所
- ・ 油の煙が発生する場所
- ・ 爆発性の粉塵及びガスが発生する場所、または発生する可能性がある場所
- ・ 腐食性のガスが発生する場所
- ・ 特殊薬品を使用する場所
- ・ 水がかかると可能性のある場所
- ・ 霧困気中に粉じん、油分が多い場所
- ・ ゴミやほこりの多い場所

■ 取付方法

■ ドアの上に取り付ける場合



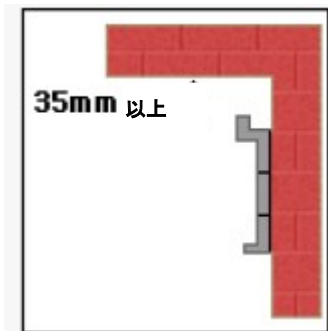
1. 開口の正確なサイズを図ります。
開口より少し横幅の長いものをお勧めします。



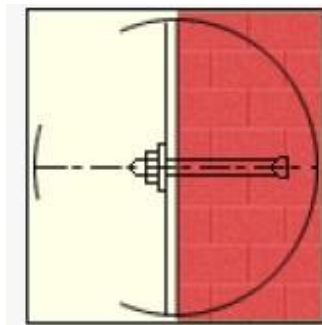
【本体の電源線】

- ・ 青・茶色 : 電源線
- ・ 緑 : アース線

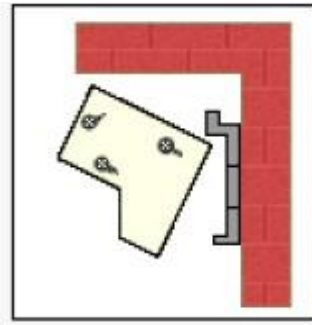
■ 壁取付の場合



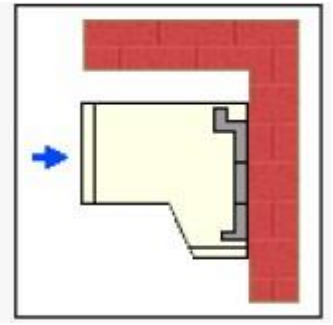
天井から 35mm 以上離れて
壁取付板を取り付けます。



壁取付板は、壁の材質に
合わせてアンカボルトまたは
ビスを使って壁に固定して
ください。

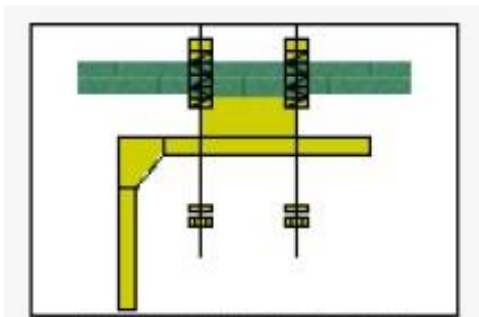


本体を取り付けます。

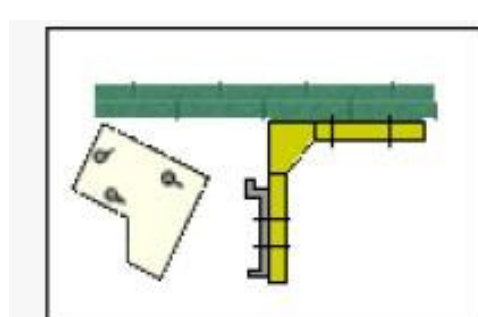


本体と壁取付板をビスで
固定します。

■ 天井取付の場合



先に天吊金具を天井に取り付けます。
※天吊用金具は、お客様各自でご用意ください。



天吊金具に壁取付板を取り付けた後、その上に本体を取り付けます。
その後、ビスで本体と取付板を固定します。

■ 壁取付板固定用ネジは、壁の材質に合わせてお選びください。

- ・ コンクリート壁・鉄柱・鉄柱 : アンカーボルト M5 または M6
- ・ 木の板 : 4~5mm の木ネジ
- ・ ボード : ボードアンカーM5

■試運転

取付工事が終わりましたら、再度結線が間違っていないか確認して正常な運転ができるか、また本体の取付けが確実に振動・異常音がないか確認してください。

★電源スイッチ（風速：強/弱に切替できます）

- ：風速 弱
- ：電源 OFF
- =：風速 強



風速：強



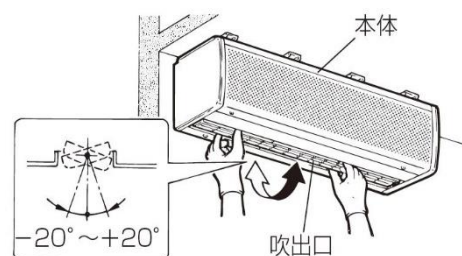
風速：弱

【吹出口ルーバー角度調節】

エアーカーテンの吹出口ルーバーを使用状況に応じて手で調節してください。

(風の向きを変えることができます。)

●ルーバー調節する場合、工具などを使用しないでください。



■設置後の確認事項

1. 1次側の電源は入っていますか。
2. 本体に電源を入れて、機械が稼働するかを確認します。
3. 稼働中、モーターの振動騒音はありませんか。
4. 稼働中、ブローファンの振動異常音はありませんか。
5. 作動を止めるためには、電源スイッチを OFF にしてください。

■手入れの仕方

1. 1週間に1回はグリルの掃除を行ってください。
2. 中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸した布で汚れを引き取り、洗剤が残らないように乾いた布できれいにふき取ってください。
3. 製品を点検・手入れする時は、必ず電源を OFF にしてください。
4. お手入れの時は、必ず手袋を着用してください。
5. お手入れの際、下記の溶剤は使用しないでください。
：シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、
科学ぞうきんの薬剤。
6. 絶対濡れた手で機器をさわらないでください。
7. 機器に水をかけないでください。
8. 本体にぶら下がらないでください。
9. 電源コードが壊れた場合は、事故防止のため代理店様、または有資格者である電気工事士様に連絡をし、電源コードの取り替えを行ってください。

■保守・点検表

定期点検を行うことによって、運転の効率が維持され無駄なエネルギー消費がなくなるだけでなく、機器の寿命を長くすることができます。

(使用条件がきびしい現場の場合は、点検周期より短くしてください)

■日常点検（お客様へ）

初期状態と比べ著しい騒音・振動の発生がないか、運転状態の確認をしてください。

吸込口・吹出口周りの掃除を定期的に行ってください。

■定期点検（設置工事会社様へ）

下記を参考に点検を行ってください。

点検項目	点検周期				備考
	月	6ヵ月	年	5年	
温度、騒音、振動などの発生または異常有無の点検	○				
吹出口・吸込口周りの汚れ点検	○				
羽根の固定ボルトのゆるみ点検		○			
取付けボルト、ナットのゆるみ点検		○			
羽根、モーター、外装部の汚れ点検		○			
製品破損・腐食有無の点検			○		
保存年限（5年）が経過したのか。				○	

■ご注意

定期点検においては、上記点検項目を点検周期を目安にかならず実施してください。

特に羽根・ファンケーシング・モーターなど製品内部の部品については、著しい汚れ・ホコリなどが付着したままの状態で使用を継続すると、それら部品の故障・破損などにつながる原因となります。